

第3回尾張旭市総合計画審議会第1部会
(保健・医療・福祉、教育・生涯学習) 会議録

- 1 開催日時
平成25年8月27日(火)
開会 午後2時
閉会 午後3時25分
- 2 開催場所
尾張旭市役所5階 第2理事者控室
- 3 出席者
後藤 澄江、若杉 致由、細田 智恵子、西塚 浩美、高志 守彦
- 4 欠席者
なし
- 5 傍聴者数
0名
- 6 出席した事務局職員
企画部長 川原 芳久、企画課長 石坂 清二、企画課長補佐 山本 和男、
企画課主査 久野 善之、企画課主査 中川 暢頭
- 7 議題等
 - (1) 基本構想(案)について(政策の大綱)
 - (2) 部会のまとめについて
- 8 会議の要旨

企画部長	本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。 定刻になりましたので、ただ今から、尾張旭市総合計画審議会第1部会(保健・医療・福祉、教育・生涯学習)の第3回目の部会を開催させていただきます。それでは、後藤部会長よろしく願いいたします。
後藤部会長	本日は、第3回目の部会を召集いたしましたところ、皆さまご多忙の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。 本日の会議につきましては、お手元に配布いたしております次第に従って進めさせていただきますので、よろしく願いします。
後藤部会長	それでは、議事に入まいります。 次第2の(1)基本構想(案)についてですが、今回が最後の部会でございますので、各論を審議した後に行うこととしておりました、本部会が担当する分野の「政策の大綱」を審議してまいりたいと思います。 それでは、まず「政策の大綱」について、事務局から説明をお願いします。
企画課主査	(資料5のうち政策の大綱の説明)
後藤部会長	進め方といたしましては、政策ごとに、ご意見を伺うこととしたいと思えます。

	<p>それでは、まず、「政策1 みんなで支えあう健康のまちづくり（保健・医療・福祉）」の「課題」と「大綱」について、ご意見がありましたら発言をお願いします。</p>
西塚委員	<p>課題の1行目では、「安心して治療が受けられる」と記載されていますが、大綱の5行目では、「安心して医療が受けられる」と記載されています。記載を統一してはいかがでしょうか。</p>
企画課長	<p>「医療」をいう表現が適切であると思いますので、課題の1行目の記載を「治療」から「医療」に修正いたします。</p>
若杉委員	<p>政策の大綱に記載された文章は良く検討がされ、良く練られていると思いますので、内容的には問題が無いと感じます。その反面、ある意味文章が良く出来過ぎていて、この文章だけ読んでいても、人口増加につながるようなインパクトのある内容が読み取れないのではないかと思います。一般論を総花的にうまくまとめているというように見えます。</p> <p>人口減少が進む中で、若い方を受け入れて、定住者を増やしていくという努力がにじみ出るような表現があった方が良いと思います。</p> <p>大綱の6行目から記載されている「若い世代が不安なく子育てができること」はその通りだと思いますが、他市町と比べて、さらに力を入れて取り組む部分が無いといけないのではないかと思います。</p>
企画課長	<p>尾張旭市は、人口が減少する中で、それを食い止め伸ばしていきたいという計画を考えていますが、ある施策に特化して伸ばしていくのではなく、全ての施策のレベルを上げていくことで、まちの魅力を高めていきたいと考えております。</p> <p>このことを踏まえて、13ページ上段の政策の大綱の説明書きの部分に記載を行うか、又は、子育て世代を中心に人口を増やしていくという想いから、政策1の子育て支援の推進に関する部分に記載を行うかについて、記載の是非も含めて検討させていただきたいと思います。</p>
若杉委員	<p>子育て世代を中心に人口を増やしていくためには、子育て支援のほかにも、教育や安全安心等もあるかと思いますが、個別の分野で記載する必要はないかと思いますが、尾張東部地区で長久手市や日進市と比べて、際立って努力するという意思が記載されていると良いと思います。</p>
後藤部会長	<p>政策1において、第五次総合計画の目玉と呼べる部分は、子育て支援とみんなで支えあうという言葉であると思います。大綱に記載された書き方ですと、これらの目玉が健康や医療、高齢者福祉に埋もれてしまっているように感じます。</p> <p>尾張旭市は、健康と医療に力を入れてきたので、健康や医療、高齢者福祉については、引き続き進めていくという記載で良いかと思いますが、子育て支援については、さらに強化するといった内容にして、順序を入れ替えることで、子育て支援に力点を置くことができるのではないのでしょうか。</p>

	<p>また、「みんなで支えあう」については、行政側が頑張ったとしても、住民が同じような思いを持って動き出すとは限りませんので、長期的にめざす方向性になるかと思えます。</p> <p>一度、記載の順序の変更について、ご検討いただきたいと思えます。</p>
高志委員	<p>これまでの議論に参加し、政策の大綱を読んで感じたことは、若い世代を出来るだけ増やし、人口を増やしていくことが重要だということです。</p> <p>このことは、政策1か、政策2なのか迷う部分かと思えますが、重要な事項なので、両政策に少しずつ記載しても良いのではないかと思えます。</p> <p>また、どちらの政策に記載したとしても、実際に事業を動かしていくのは、縦の組織で実行していくことになると思えます。分野横断的な取り組みを進めるということが書かれていますが、具体的な進め方が記載されていると良いのではないかと思えます。</p> <p>また、このことを実現していくために、プロジェクト的なことも考えてはどうでしょうか。</p>
企画課長	<p>分野横断的な取り組みを進めるということに関しては、17ページの第6章まちづくりの進め方において「分野横断的な取り組みを進めます」と記載しており、第五次総合計画から新たに記載した項目になります。</p> <p>例えば、部の中での連携や部をまたいで課題に取り組んでいくという意気込みを記したものになります。</p>
後藤部会長	<p>子育て支援の中でも保育も重要な分野ですが、保育は福祉に含まれるものとして捉えているのでしょうか。</p> <p>広い意味で捉えると、保育も福祉の中に含まれると思えますが、従来の行政の考え方では、保育と児童福祉は分かれていました。</p> <p>最近では、子ども・子育てとして一つの領域に含まれてきており、保育部局と児童福祉部局が一体になって、子ども・子育て支援事業計画を策定するなどしているのではないのでしょうか。</p> <p>政策1（保健・医療・福祉）の福祉の中に、保育が含まれているという考え方でよろしいのでしょうか。</p> <p>職員の皆さんの意識の中に、「保育」が福祉分野に含まれるという認識があまり無いようでしたら、政策の名称に「保険・医療・福祉・保育」として、追加して記載することも考えてはどうでしょうか。ご検討をお願いします。</p>
企画部長	<p>子育て支援を強化するという考えがあるにも関わらず、政策の名称に、保育や子育てという記載がありませんでした。</p> <p>12ページの「第3章 計画人口」で、子育て世代の流入を図り、社会増減を増加させるとしておりますが、大綱の中にその旨が記載されていないことはご指摘のとおりだと思いますので、記載について検討させていただきたいと思えます。</p>
若杉委員	<p>短い文章の中に伝えたいことをまとめるのは難しいことだと思いますが、</p>

	<p>「住んでみたい魅力あるまち」という想いが計画書に記載されていないと、人口を増やすことにつながらないのではないのでしょうか。</p> <p>特に、若い世代のかたが、住んでみたい・住み続けていたいと思えるような施策がある魅力あるまちの実現に結びつく記載が必要ではないかと思います。</p>
企画課長	<p>11ページの将来の都市像の「住みよいまち」の説明の中で、本市に「住みたい」と思っただけでまちづくりを進めていくことを記載しております。</p>
企画課主査	<p>政策の大綱の中では、6行目の「若い世代が不安なく子育てができる」という言葉に含まれるものとなりますが、記載について検討させていただきたいと思います。</p>
後藤部会長	<p>続きまして、「政策2 豊かな心と知性を育むまちづくり（教育・生涯学習）」の「課題」と「大綱」について、ご意見がありましたら発言をお願いします。</p>
若杉委員	<p>市の教育関係機関の守備範囲のことしか拾いきれていないように感じます。</p> <p>例えば、高校・大学といった高等教育機関との連携などが記載されていないので、「施策2-3 総合的な教育連携の推進」への記載や、生涯学習の分野などで幅広く高等教育機関と連携して事業を進めていく旨の記載が必要ではないかと思います。総合計画書の素案を作成する段階で、どのような議論がされたのでしょうか。</p>
企画課長	<p>例えば、市内の旭野高校とは災害時の協定を締結したり、名古屋産業大学とは包括連携協定を締結したりするなど、高等教育機関との連携は進めている状況です。</p> <p>ただし、これらの連携は教育分野にとどまらず様々な分野で進めているものとなりますので、素案の検討段階において、高等教育機関との連携について記載するか否かといった議論は無かったというのが現状になります。</p>
若杉委員	<p>市内の高等教育機関に限らず、市外の機関とも連携することで、教育の質を高めたり、生涯学習の活動範囲を広げたりすることにつながるのではないのでしょうか。</p> <p>これらのことを踏まえて、高等教育機関との連携について総合計画書に記載をしてはどうでしょうか。</p>
企画課長補佐	<p>総合計画と並行して策定を進めております教育振興基本計画は、総合計画と施策の体系が同じ作りになっておりまして、「施策2-3 総合的な教育連携の推進」に相当する施策において、名古屋産業大学や金城学院大学との連携といった高等教育機関との連携に関する記載があります。</p> <p>総合計画の施策2-3についても、高等教育機関との連携について、記載することができるかを検討させていただきたいと思います。</p>
企画部長	<p>市内にとどまらず、多くの大学から連携の打診はあります。この部会の範囲外になるかと思いますが、「施策8-1 開かれた市政の推進」などでも記載することができないか併せて検討したいと思います。</p>
後藤部会長	<p>高等教育機関と自治体との連携が盛んになっています。</p>

	<p>高校生や大学生が地域社会の中に入って、地域の資源を使って教育を進める必要性も高まってきていると思います。</p> <p>大学では、地域に入っていくことが教育手法として確立しつつありますし、自治体にとっても若い世代が少なくなっていく中で、若い世代が早い段階から地域社会に溶け込む取り組みを進めていくことは、必要であると思います。</p>
若杉委員	<p>「施策2-3 総合的な教育連携の推進」という項目があるので、記載が無いことについて意見をお伝えしました。政策の大綱やその他の部分でもよいので、教育連携について記載することを考えていただきたいと思います。</p>
高志委員	<p>高齢者で元気なかに、生きがいを持ってもらうための取り組みとして、ボランティアを推進することは必要だと思います。もっと、ボランティアを推進して、生かして欲しいと思います。</p> <p>政策1、2、7のいずれかに含まれるとは思いますが、ボランティアの推進について、政策の大綱に記載することを検討していただければと思います。</p>
企画課長	<p>高齢者を対象にしたボランティアは施策1-4で取り扱いますが、ボランティア活動や市民活動全体については、政策7で取り扱うこととなります。</p> <p>具体的には、92ページ「基本事業7-1-3 ボランティア・市民活動の支援」において、市民の方のボランティア活動や市民活動を支援することについての記載がされております。</p> <p>また、16ページに記載された政策7の大綱では、3行目から6行目にかけて、市民活動の活性化について記載をしております。</p>
企画部長	<p>現在、建設を進めている（仮称）高齢者生きがいセンターでは、高齢者のかたがボランティアなどを通じて活躍できる仕組みを考えており、施設にコーディネーターを配置して、取り組みを進めていこうと考えております。</p> <p>また、施設を所管している健康福祉部だけではなく、関連する庁内の組織が集まって、横断的に実施事業の検討を進めているところです。</p>
高志委員	<p>ご説明いただいたハードの整備が終わり、これからソフトの整備を進めていくのであれば、事業を進めやすくするためにも、政策の大綱に関係事項を記載してはどうでしょうか。</p>
企画部長	<p>37ページの「施策1-4 高齢者福祉の推進」の施策を取り巻く現状と課題において、高齢者生きがいセンターを開設し、今後は施設を拠点として高齢者の生きがいづくりを進めるという記載がありますが、少し抽象的かと思しますので、記載を検討させていただきたいと思います。</p>
後藤部会長	<p>「社会貢献」まで行くと行き過ぎかと思しますので、「社会参加型」や「生きがいづくり」といった記載を追加することが適当ではないでしょうか。</p>
後藤部会長	<p>高齢者の生きがいづくりとボランティア活動の活性化、生涯学習の推進は、重なる部分もあり、連携が大切であると思います。</p> <p>例えば、愛知県の高齢者大学や名古屋市の鯉城学園などのように、地域のボランティアや健康、生きがいづくりに結び付くような内容であれば、行政が関</p>

	<p>与する意味があると思います。</p> <p>生涯学習を学んだかたが、今度は講師になって生涯学習の担い手になるような仕組みを作ることや地域の中でボランティア活動を行うことなどをカリキュラムに入れると良いのではないかと思います。</p> <p>民間が提供するプログラムと行政が提供するプログラムの違いを明確にすることが必要と思います。</p>
若杉委員	<p>元気で働くことができる高齢者は、幸せだと思います。元気があって働くこともできるのですが、何もやる事が無いという高齢者は多いと思います。</p> <p>そういう方々が社会参加できる場を作ることが、これからは必要になってくるのではないかと思います。</p> <p>そのような内容を計画に記載してはどうかと思います。</p>
企画部長	<p>高齢者のかたに生きがいを感じていただくための施設として建設するものになりますので、意見の記載について、検討させていただきます。</p>
細田委員	<p>大綱の6行目において、まち全体で次代を担う人材の育成に努めると記載されていますが、将来の尾張旭市を背負うといったような記載を追加してもいいのではないのでしょうか。その旨を記載することで、尾張旭市に将来も住み続けたいという想いも生まれるのではないのでしょうか。</p> <p>政策の大綱に記載することを検討していただければと思います。</p>
企画課長	<p>記載について、検討させていただきます。</p>
	<p>午後2時55分休憩</p> <p>午後3時05分再開</p>
後藤部長	<p>続きまして、次第2の(2)部会のまとめに移ります。</p> <p>それでは、まず部会のまとめについて、事務局から説明をお願いします。</p>
企画課主査	<p>(資料19説明)</p>
後藤部長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの事務局の説明につきまして、ご意見などございますか。</p>
高志委員	<p>資料19の別紙の1ページにおいて、「ほかにも他市で実施していない新たな取り組みを、総合計画に取り入れていく姿勢が欲しい」との記載がありますが、他市で実施していても役に立つ取り組みがあれば本市でも取り入れて進めていけば良いと思いますので、「他市で実施していない」という記載を削除してはどうでしょうか。</p>
企画課長	<p>「他市で実施していない」という記載を削除することとします。</p>
企画課長	<p>資料19は、本日配付した資料になりますので、資料20の第2回部会の会議録の確認・修正を併せまして、9月20日までにご意見をいただきたいと思っております。</p>
後藤部長	<p>本日の議論を踏まえた部会のまとめや会議録は、この後修正する機会があるのでしょうか。</p>
企画課長補佐	<p>10月4日に部会のまとめとして部長から報告していただきますが、疑義</p>

	<p>やご意見があれば、その場でご指摘いただくことや審議会の後でも修正することは可能といたします。</p>
後藤部会長	<p>次第3について、事務局から説明をお願いします。</p>
企画課主査	<p>(次回日程、資料20説明)</p>
後藤部会長	<p>最後に、(2)その他連絡事項に移ります。事務局から、何かありましたらお願いします。</p>
企画部長	<p>その他連絡事項といたしましては、ございませんが、部会の審議は、本日をもちまして、終了となります。非常にタイトな日程の中、ご出席を賜り、また、慎重にご審議いただきましてありがとうございます。</p> <p>全体会でのご審議もよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、教育委員会代表の細田委員につきましては、教育委員の任期が9月30日まででございますので、この総合計画審議会委員の任期もその日まででございます。したがって、本日が最後の会議となりますので、一言ご挨拶をお願いします。</p>
細田委員	<p>(細田委員挨拶)</p>
後藤部会長	<p>審議が全て終了となりましたので、事務局にお返しします。</p>
企画部長	<p>特にございません。長時間に渡りご審議を頂きましてありがとうございます。次回以降もよろしくお願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、第3回の第1部会の日程をすべて終了いたしました。ご協力ありがとうございました。</p>